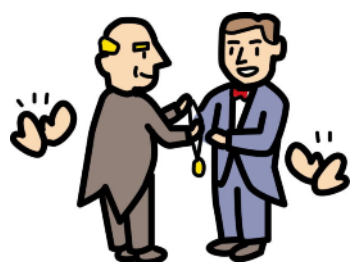


ひまわり



平成30年10月4日(木)

世のため人のため



今年も嬉しい知らせを新聞で知りました。ノーベル医学・生理学賞に、京都大学特別教授の本庶 祐（ほんじょ たすく）氏が選ばれたのです。2014年からは、毎年日本人が受賞しているところも注目すべきところでは、今回の受賞理由は、「新しいがん治療の方法を発見したこと」です。

日本におけるがんの標準治療は、「外科手術」「放射線」「抗がん剤」です。これらの治療を、病状によって組み合わせて使うことが一般的です。ここで言う「標準治療」とは、標準的・平均的という意味ではなく、科学的エビデンス（根拠）に基づいた、今考えられる「最良・最善」な治療をさしています。

しかし、検査結果に基づいたベストな治療がされるものの、それぞれの治療方法にメリット・デメリットがあり、例えば抗がん剤では、副作用が強く出てしまうこともあるのです。

本庶氏の研究成果は、「PD-1」というタンパク質の発見にありました。このタンパク質が、がん免疫治療薬「オプジーボ」の開発に結びついていきます。PD-1発見は、これがこれまでの抗がん剤と違い、副作用の少ないがん治療薬の開発に結びつくことが期待できました。しかし、当初はPD-1の医薬品化に興味を示す企業が見つからなかったようです。本庶氏は、医薬品化を何度断られても、粘り強く製薬会社と交渉を重ねたといいます。「重い病気で苦しんでいる人を助けたい」そのような思いが、本庶氏を前に突き動かしたようです。

新聞の記事を読みながら、「世のため人のために働く」とは、まさしくこのようなことなんだと心を動かされました。「世のため人のため」になることとはどのようなものなのか、皆さんにも考えてほしいと思います。

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【東住吉中学校】で検索



QR code

東住吉中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j742691>